

報道発表資料  
平成 22 年 4 月 23 日  
気 象 庁

運輸多目的衛星「ひまわり 6 号」から「ひまわり 7 号」への気象観測  
運用切り替えについて

気象庁は、平成 17 年 6 月 28 日から「ひまわり 6 号（運輸多目的衛星新 1 号）」による観測を行って来ましたが、平成 22 年夏に観測機器が設計上の運用期間である 5 年を満了することから、7 月 1 日から「ひまわり 7 号（運輸多目的衛星新 2 号）」による観測に切り替えます。

切り替え等に係る詳細は、別紙をご参照ください。

本件に関する問い合わせ先  
観測部気象衛星課  
03-3212-8341  
(内線 2273, 2275)

(別紙)

#### 1. 切り替え

平成 22 年 7 月 1 日 (木) 12 時の画像から「ひまわり 7 号」で観測した画像に切り替わります。

#### 2. 「ひまわり 7 号」による観測の種類

「ひまわり 7 号」は、「ひまわり 6 号」と同等の観測性能を持っており、「ひまわり 6 号」と同じ 1 種類の可視画像と 4 種類の赤外画像を観測します。観測スケジュールについても全球観測と半球観測を繰り返す現在のパターンを継続します。

#### 3. 提供する画像データ

「ひまわり 7 号」は静止位置である東経 145 度から観測を行いますが、「ひまわり 6 号」(静止位置東経 140 度)で観測したものと同様の画像データに変換して提供します。

中規模利用局 (MDUS) 向け及び気象業務支援センターから提供を行っている HRIT (高速情報伝送) 形式の画像データに関しては、東経 145 度から観測した画像データをそのまま提供します。(利用ユーザに対してはその旨お知らせ済みです。)

なお、今回の切り替えに合わせて、小規模利用局 (SDUS) 向けに提供を行っている LRIT (低速情報伝送) 形式の画像データについては、全球の可視画像データを追加します。

#### 4. 画像データの配信

利用局への「ひまわり 7 号」画像データ (HRIT 及び LRIT) の配信については、引き続き東経 140 度にある「ひまわり 6 号」が行います。このため、現行ユーザにおけるアンテナ設備の向きの調整は必要ありません。

#### 5. 「ひまわり 6 号」による観測の待機運用

「ひまわり 7 号」による観測へ切り替わった後には、「ひまわり 6 号」は観測の待機運用となり、「ひまわり 7 号」が障害等により長時間観測できない場合には、「ひまわり 6 号」による代替観測を行います。

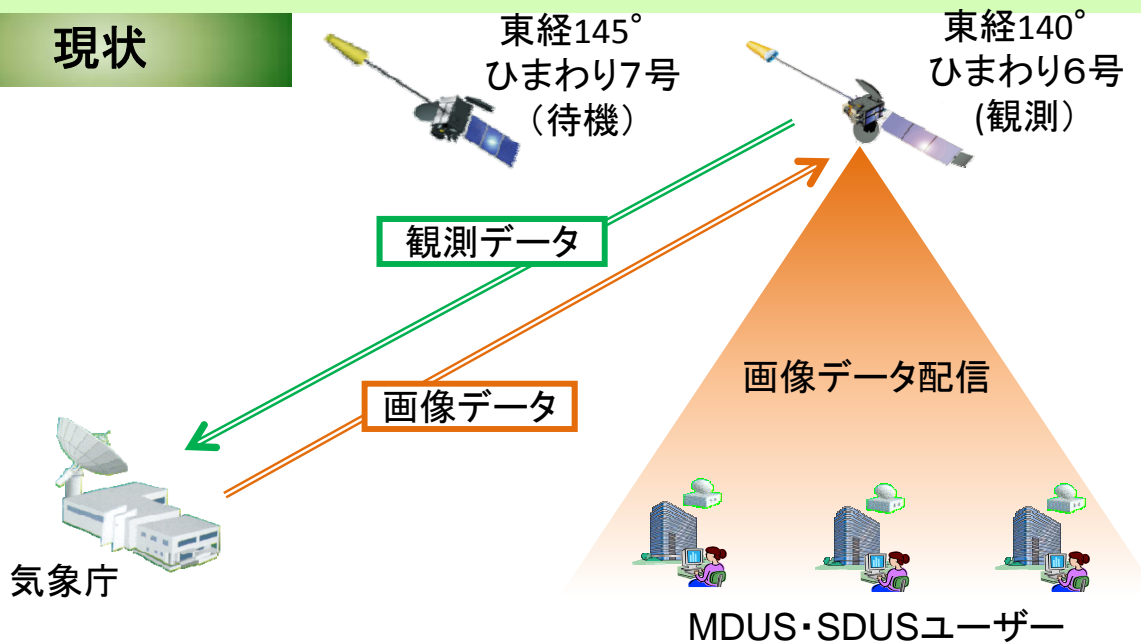
#### 6. その他

「ひまわり 6 号」から「ひまわり 7 号」への気象観測運用の切り替えが、航空機の管制運用 (航空ミッション) に与える影響はありません。

# 「ひまわり」の気象観測運用の切替

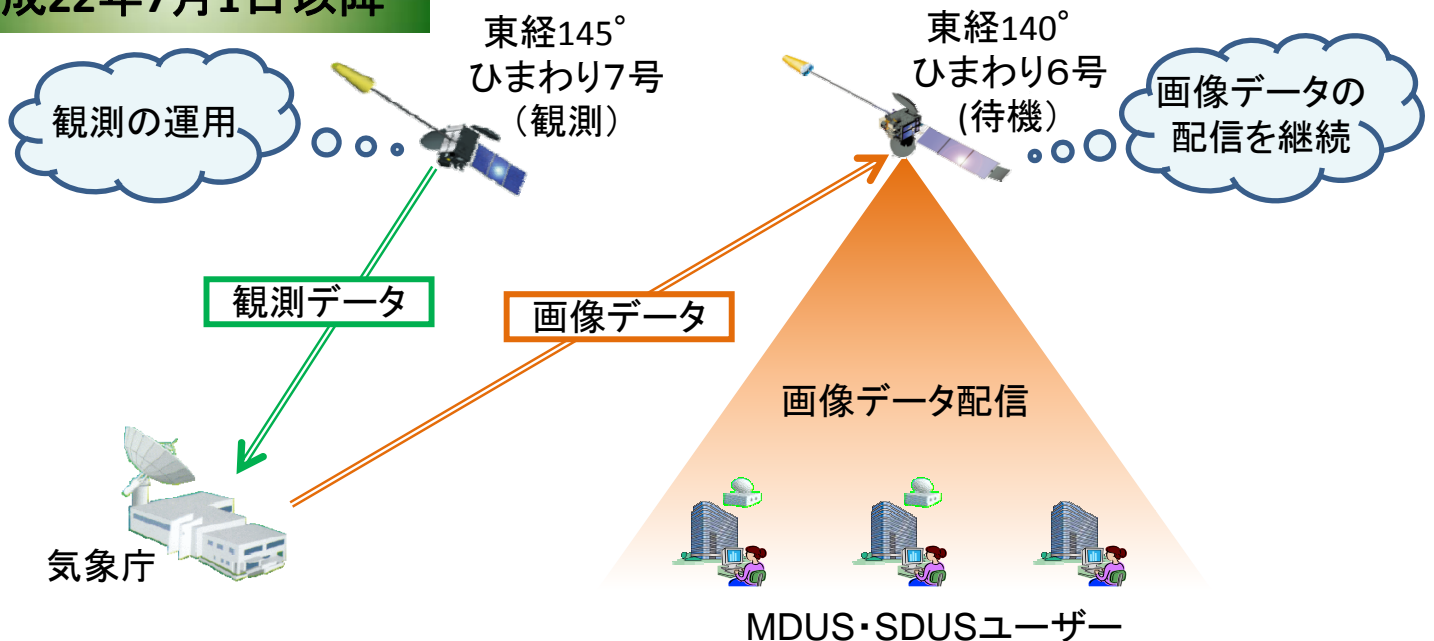
- 平成22年7月1日12時から、これまでの「ひまわり6号」の画像から「ひまわり7号」の画像に切り替わります。
- 7号の画像の種類は6号と同じで、観測スケジュールも同じです。
- 画像データの配信は、継続して6号が行います。
- 小規模利用局(SDUS)向けに配信しているLRIT形式画像データについては、全球の可視画像データを追加して配信します。

## 現状



気象観測の運用はひまわり7号に移行  
ただし、画像データの配信はひまわり6号が継続

## 平成22年7月1日以降



- ・切り替え後の運用は、これまでの7号によるバックアップ運用と同じ。(運用実績あり)
- ・気象観測運用の切替に伴う航空管制運用への影響はありません。